

東京都に対する予算要望を承認

第 136 回理事会議事概要

令和 6 年 7 月 2 日（火）

ビルメンテナンス会館 4 階

第 1 審議事項

第 1 号議案 理事職務の継続について

標記について提案説明があり、全会一致で承認された。

■提案説明

向山路一理事から、令和 6 年 6 月 26 日付で株式会社 JR 東日本環境アクセス代表取締役社長を退任され、同日付で同社の代表権のない取締役会長に就任したとの報告があった。また、本人から理事職務を継続したいという申し出があった。向山理事は、現在建築物施設保全委員会委員長を務めており、引き続き理事としてご活躍いただきたい。

定款施行規則第 9 条に基づき、向山理事の現任期終了時までの職務の継続を提案する。

第 2 号議案 継続入会の承認について

標記について提案説明があり、全会一致で承認された。

■提案説明

正会員の株式会社イーグルスペースは、会員であった株式会社イーグルメンテナンスと同社のグループ会社で非会員の株式会社プロスペースが令和 6 年 6 月に合併した会社であり、存続会社である株式会社プロスペースが名称変更して株式会社イーグルスペースとなった。同社の代表は、株式会社イーグルメンテナンスの代表と同じ方が就任している。

このたび継続入会の申込みがあり、総務委員会として問題なしと判断した。

第 3 号議案 令和 7 年度 東京都予算要望 ビルメンテナンス業関係施策について

標記について提案説明があり、全会一致で承認された。

■提案説明

毎年東京都に対して行っている要望書について、昨年度の要望と比較しつつ説明する。

前文については、要望書の根拠となる官公庁からの文書について、最新の情報に更新した。昨年11月、内閣官房、公正取引委員会の連名で発注者・受注者双方に示された「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」と、昨年8月に総務省から全国の自治体宛てに発出された「最低賃金の改定に伴うビルメンテナンス業務に関する最低賃金額の変更について」という文書である。いずれも、労務費上昇の契約額への速やかな転嫁を促す内容となっている。

ゼロ都債の活用については、令和5年度に始まった本制度の活用により一部案件で入札時期の前倒しが行われたが、総合評価制度を中心とした案件がなく、その効果が実感できないため、案件拡大を要望するものである。

「契約内容の履行確保と入札参加資格の審査について」では、適切な業者の確認対象を落札者のみに限定することで都としても対応しやすくすることを通じ、要望の早期実現を図るものである。

入札参加資格者の社会保険の加入状況の確認については、長年の要望の結果、昨年度末に東京都社会保険労務士会を通じて全数確認が行われた。今年度の要望では、調査によって不正業者がいた場合には厳正な対処をするよう要望するものである。

要望活動の結果、障害者雇用率は年度途中でも変更できるよう改善が図られたため、当該要望は削除した。

新規項目「東京都社会的責任調達指針について」では、東京都財務局が有識者会議を通じて作成中の指針の意義については評価しつつも、膨大な項目が必須となるチェックシートへの対応は中小企業の負担が大きいため、その部分の見直しについて要望するものである。

新規項目「労働災害対策について」では、熱中症予防対策に関する費用負担の要望である。ビルメンテナンス業界では労働災害が多数発生しており、特に熱中症については、先月当協会が東京労働局長から直接要請を受けている。東京都は工事受注者に対して熱中症予防対策について通知を発出しているが、危険度は当業界も同様である。熱中症予防対策を行うため、対策費を含めた適切な予算計上を要望するものである。

要望書は今後、財務局との意見交換会や都知事ヒアリングの席上で東京都に対して提出する予定である。

第4号議案 委員会委員の追加選任について

標記について提案説明があり、全会一致で承認された。

■提案説明

任期は、令和6年7月1日から令和7年6月30日までとなる。

建築物衛生管理委員会教育研修小委員会委員に、グローブシップ株式会社石塚肇氏の選任をお願いする。石塚氏は現在、社内で清掃品質課課長を務めている。氏には平成17年から13年間、同委員会の委員を務めていただいたが、出向に伴い退任した経緯がある。今回は出向解除に伴う再就任となる。選任後は、教育研修小委員会で講師を務めていただく。

第2 報告事項

1 委員会報告

(1) 総務委員会

第14回定時総会の実施報告

定時総会における議決の最終的な内訳だが、出席総数は408社だった。議案ごとの議決権行使の内訳については、全議案承認をいただいた。

(2) 労務管理委員会

ア ロープ高所作業安全強化月間の実施

当委員会では、東京ガラス外装クリーニング協会と合同で、毎年6月を「ロープ高所作業安全強化月間」と位置づけ、高所作業での転落・墜落等の災害防止への意識を高めるための取組みを行っている。今年はチラシや特設サイトでの啓発に加え、東京ガラス外装クリーニング協会と共同でパトロールを行ったほか、今月19日、ビルメンテナンスフェアの中で安全対策のセミナーを開催する予定である。

イ 職場における熱中症予防対策会議への出席

東京労働局が主催する、職場における熱中症予防対策会議に、当委員会から委員が出席した。

近年は猛暑の影響で死傷者が非常に多く、会議では各業種の業界団体に向けて、今年も熱中症には十分に注意するよう呼びかけがあった。

東京都内でのビルメンテナンス業の事例としては、昨年、マンションの清掃作業中に気分が悪くなった方が30日間の休業となっており、ま

た一昨年には、同じく清掃員の方が2名亡くなっている。

協会では、会員全社に東京労働局による注意喚起のチラシを郵送したほか、講習会の参加者に注意を呼びかけるなどしている。夏本番に向けて、現場で働く方の体調管理やこまめな休憩、水分・塩分の補給などにご留意いただきたい。

ウ 労働災害の増加

当初予定にはなかったが、緊急事態であるため追加で報告する。

東京労働局の直近のデータでは、労働災害について全業種の中でビルメンテナンス業の増加率がトップになっている。前年同時期に比べ28.5%増であり、その主因は転倒である。転倒は昨年同期で72件だったのが120件であり、倍近くになっている。今年3月ぐらいからこうした事故が急増しているため、転倒については特に注意してほしい。

(3) 厚生委員会

ア 厚生事業実施報告

本年4月から7月までの実施報告を行う。

i) 第98回ビルメン野球大会

5月12日から3週にわたり毎日曜日に、埼玉県三郷市のサンケイスポーツセンターで実施した。参加チーム数は昨年より4社多い20社、優勝は、昨年に続き株式会社サニクリーン東京であった。期間中は熱中症やけが人もなく、無事に終了した。

ii) 都立動物園・水族園の招待事業

招待数は3園で145組290名だが、今回も定数を超える応募をいただいた。抽選を行い、当選者には5月24日にチケットを送付した。

iii) 第209回ゴルフ大会

5月30日に石坂ゴルフ倶楽部で実施した。27名が参加したが、天候にも恵まれ、絶好のゴルフ日和だった。

iv) 第66回東京都交響楽団演奏会招待事業

本事業は年4回実施しているが、第1回目を7月24日に上野の東京文化会館で実施する。招待人数は10組20名だが、多数の応募をいただいた。当選者には7月5日にチケットを発送する予定である。

イ 第 67 回東京都交響楽団演奏会招待事業

本事業 2 回目の募集として、9 月 4 日に上野の東京文化会館で実施する。10 組 20 名の招待事業として、7 月 16 日より募集を開始する。

(4) 経営研究委員会

連合東京との意見交換会の実施

東京都への要望活動に関する情報交換の一環として、連合東京との意見交換会を 5 月 24 日に実施した。当日は吉澤理事を筆頭に、官公庁契約小委員会の委員が対応した。先方からは、都内区市町村に対する公契約条例制定の働きかけの状況などについて情報提供があり、協会からは東京都への要望活動について情報提供を行った。

(5) 障がい者等自立支援委員会

第 23 回東京障害者技能競技大会への協賛と専門委員・補佐員の派遣

東京アビリンピックとして知られる同大会について、今年度も主催団体の独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構東京支部から大会への協賛と、専門委員・補佐員の派遣依頼があった。大会に協賛し、専門委員 3 名、補佐員 8 名を派遣する。

同大会は、来年 2 月 15 日に小平市の東京障害者職業能力開発校及び職業能力開発総合大学にて開催予定である。

(6) ビルメンテナンスフェア実行委員会

ビルメンテナンスフェア TOKYO2024 の開催（進捗報告）

同催事の開催が今月 18 日・19 日と直前に迫ってきた。このほど案内チラシとガイドが完成した。協会から会員に対して定期便で郵送するとともに、チラシについては出展社自身も会員の皆様に配付し周知を図っている。また、詳細な情報が掲載されたガイドについては、当日に会場で配付するとともに、過去の来場者にもダイレクトメールで事前に送付した。

イノベーションをテーマにセミナーを開催するなど、ビルメンテナンス業界が新たな時代に挑戦する姿勢をフェアを通じて示していきたいので、ぜひ会場に足を運んでいただきたい。来場の事前登録などは特設サイトを参照してほしい。

2 他団体への派遣報告

(1) (公社) 全国ビルメンテナンス協会

全国協会から、特定技能 1 号評価試験問題作成ワーキンググループ及びビルクリーニング技能検定資機材検討ワーキンググループの委員として、当協会事務局専任講師の北山克己氏の派遣依頼があった。任期は今年7月1日から令和7年5月31日までである。

(2) 千代田区

千代田区から、公契約審議会委員として、引き続き専務理事の高橋氏へ委員就任の依頼があった。任期は、今年7月31日から令和8年7月30日までである。

3 事務局報告

(1) 主な出来事 (5・6月)

- 5月8日：三役会、第135回理事会、東京地区本部会議、地区本部事務局長 TV 会議
- 21日：東京ビル管理用品協同組合総会懇親会
- 24日：連合東京との意見交換会
- 29日：(一社) 神奈川県ビルメンテナンス協会創立60周年記念式典
- 31日：(一社) 東京都警備業協会との意見交換会
- 6月4日：三役会、第14回定時総会・懇親会
- 14日：地区本部事務局長 TV 会議
- 18日：優良従業員表彰式

(2) 今後の予定

- 7月12日：全国協会東京地区本部代議員会議
- 18日：ビルメンテナンスフェア TOKYO 2024 (19日まで)
(会場：都立産業貿易センター浜松町館)
- 24日：全国協会定時総会 (会場：メトロポリタン仙台)
- 9月3日：三役会、第137回理事会、東京地区本部会議

(3) 会員数の推移

正会員 512 社、賛助会員 69 社 (令和6年7月1日現在)

第3 その他

労働災害撲滅への取組みについて

先ほど森井理事から話があったが、労働災害が今非常に増えている。ご承知の通り、今年度から労災保険料が上がっている。この1期で災害の発生を防いだ上で、何とかもとの料率に戻したいと、全協でも活動しているところである。その中で、東京の災害が多いというのは残念だ。労務管理委員会だけをお願いするのではなく、協会全体で災害撲滅に向けてどういう取組みをしていったらいいか、全員で考えて進めていきたい。ぜひお願いしたい。

(了)